

都市再生整備計画 事後評価シート  
川越市歴史的風致維持向上地区

平成27年3月

埼玉県川越市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	川越市	地区名	川越市歴史的風致維持向上地区			面積	84ha
交付期間	平成23年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	208 百万円	国費率	0.45		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業	道路事業(歴史的地区環境整備街路事業(仮)喜多院門前通り線)											
	提案事業	-											
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	基幹事業	高質空間形成施設(歴史的地区環境整備事業(仮)喜多院外堀通り線)	計画期間内に事業の完了が困難となったため、平成26年度に計画変更して削除		指標2の達成に影響を与えるが、他の要因で歩行者数が増える可能性があるため、指標、数値目標等は据え置く。								
	提案事業	地域創造支援事業(新築修景補助事業、都市景観重要建築物の活用)	ともに助成事業であるが、補助対象事業者が現れなかったため。		指標1及び指標2の達成に影響を与えるが、他の要因で届出件数が増える可能性があるため、指標、数値目標等は据え置く。								
	新たに追加した事業	基幹事業	-		-								
	提案事業	-		-									
	交付期間の変更		当初	平成23年～26年度		変更		-					
			-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	都市景観形成地域内における届出件数	件/年	32	H21	35	H26	モニタリング	評価値				
										基準年度	目標年度	48	○
	指標2	喜多院門前における歩行者数	人	3,304	H22	3,634	H26	-	3,705	○	あり	喜多院門前通り線の整備が始まったことや、喜多院、中院など周辺の良好な景観の普及啓発したことにより、認知度が高まり、歩行者数の増加につながった。	平成28年3月
なし										なし			
指標3	川越まつりの来客数	人	806,000	H22	806,000	H26	-	972,000	○	あり	都市景観重要建築物等の保存活用が進み、まつりと合わせた川越の町並みの魅力が発信され、鉄道の相互直通運転によるアクセス性の向上もあり、観光客の増加に寄与した。	-	
									なし	なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-				
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					
	住民参加プロセス	-		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-					
	持続的なまちづくり体制の構築	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					

